

竹馬会情報紙

はずみ



竹馬会キャラクター
なべムシ君

雨の中

△面山高原フェア

お疲れ様でした

今年の八面山高原フェアは、一日中雨に降られ最悪の状況の中で開催されました。前日のコンサートのために、ステージにテントを張っていたため、最後までどうにかできましたが、テントがなかったら昼で中止だったでしょう。

竹馬会のチャンコも、朝の肌寒さで売れ行き好調かに思われましたが、途中からの雨で思うように売れませんでした。それでも、570杯、17万円ほどの売上げがあったようです。経費と打ち上げの費用を引いても赤字にはならず、4万円まわりの利益をこよました。

野外音楽堂コンサート

野外音楽堂で初めて試みしました「岡林信康コンサート」は雨もどうにか降らずに、600人の入場者があり、初めての試みとしては大成功でした。

これからも、みんなの力でことうしたコンサートが開けたらと思います。ご加勢を頂いた方々、お支し兼で。



野外音楽堂初のコンサート

楽農倶楽部の設立

依然として日本の米余り現象は続き、減反面積はますます厳しくなっております。

これまでの米に頼った農業にも限界があります。国はこれまで裏作だった大豆、麦を表作として取り組むようになりました。

転作も団地化することにより、奨励金が有利になり、大豆麦を作れば、米作よりも高収入を得られるようになります。

場合によっては、おいしい米を買って食べた方が得と言う事になります。

来年から、こうした動きを支援して行こうと竹馬会を中心とした「楽農倶楽部」を結成しました。



楽農倶楽部の設立で新しい農業を！

その名のとおりに、地域ぐるみで、みんなで楽しく農業をやろうということなんです。

当面は、転作田の作付けが困難な農家の田んぼに大豆、麦を作る事などから始めてみましょう。

「楽農」と言っても、これは全くの遊びではなく、これからますます深刻になる農業を真剣に考え、集落営農体系のあり方を考えるものです。

希望する有志で組織し、最終的には、出席日数に応じた賃金などを定め、規約等を整備しなければならぬと思います。

これからは、自分達の地域のこと自分達で考えないと生きて行けなくなります。市町村合併が行われればなおさらの事です。

今後の大鍋予定

11月5日が追加になりました

日 時	場 所	行事内容
10月29日(日)	豊津町	産業祭
11月5日(日)	行橋市	町民体育祭
11月18日(土)	行橋市	行橋市産業祭(JAみやこ)
11月26日(日)	椎田町	県際間交流フットサル

10月29日は朝7時30分に佐知庵に集合してください。その他は後日連絡します。

28・29日は若葉会が宮崎に研修旅行に出かけます。



島根の川瀬会長

入院生活

島根県の和田青年会川瀬会長が8月20日の泥田バレーの翌日から入院をしていました。

胆石の手術と糖尿の治療のようです。

相良(卓)が18日～20日まで米子に出張に行きましたので、時間を見て見舞いに行つて来ました。胆石で入院したら、糖が出て手術を見合わせ、10月に入ってからやっと手術したそうです。もう、すっかり元気になっていました。今月中には退院のようです。

皆さんによるしくとのことでした。